



博士の遺した最期の発明

キミは特許出願するにあたり、専門家である弁理士に相談することにした。

弁理士は公開された技術で類似のものがいないか、過去の特許出願書類をチェックしてくれているのだ。

発明が人に横取りされないよう、発明者の権利を守ってくれるのが特許…

だからこそ、今までに公開されている技術や類似の発明では特許を取得することができない。

弁理士「類似の発明はなさそうですね…ただ…」

キミ「どうされました…？」

弁理士「博士のプロフィールを調べてみたところ、ノーサイドというお名前は彼が使用していた偽名のようなですね。

プロフィールに博士の本名は書かれていませんでしたし、いやはや困りましたね…」

なんと、師匠の名前「ノーサイド」は偽名だったようだ。

じゃあ師匠の本当の名前は一体なんなんだ？

さあ、キミのひらめきで、なんとか師匠の本名を手に入れる方法を考えよう！

- 師匠の本名を調べる方法を考えて、その方法を実際にやってみよう。
- 師匠の本名がわかったら、「発明者の名前」の欄に書かれた「ノーサイド」を二重線で消してその右に彼の本名を書き、特許庁カウンターへ提出しよう。

※この問題はかなりの難問です。どうしても分からないときは、この用紙の裏面に書かれたヒントを見て考えよう。ヒントは3つあるよ。